



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和元年度学校だよりNo.21
令和2年1月23日
文責 校長 吉尾直樹

伝統と受け継ぎ、新しい大島中を創造する

1月8日 生徒会引継式

始業式に引き続いて行われた生徒会引継式では、前生徒会長から新生徒会長へ、思いとともに校旗とファイルが渡されました。また、前生徒会役員からは、今までの活動の振り返りと感謝の気持ちが述べられました。いよいよ、新生徒会のスタート。伝統を受け継ぎ、自分たちの思いを生徒みんなに伝え、新しい大島中学校を作っていきます。



締めくくりの大切な3学期をお願いします

1月15日 学級委員任命式

学級委員任命式では、各学級2名の学級委員に任命状を渡しました。3学期は短いですが、その学年の学習内容を振り返り、しっかりとできているかを確認したり、1年間の自分の成長を振り返ったりして、その年度を締めくくる大切な学期です。そのため、学級委員に求められるのは、学級の状況を的確にとらえ、今何が必要かを考え、自分の思いや考えを学級に提案し、変えていくことです。こうした取組が次の学年の始まりを勢いづけてくれます。いつも右肩上がりにうまくいけばいいのですが、スポーツも勉強もそうではなく、必ず伸び悩む時期があります。学級もそれと同じ。雰囲気が悪いな、流されていると感じた時にはしっかりと状況を見つめ、新たなスタートを切りなおすことも必要です。学級委員として、自信をもってみんなに「こうしよう」と訴えてほしいと思います。

生徒・保護者の学習への意識が大きく高まっています

生徒・保護者アンケートから

生徒と同じく、学校も今年度をしっかりと振り返り、次年度に向けたさまざまな計画を進める時期です。12月に実施した生徒・保護者後期アンケートでは、特に「確かな学力」に関する項目で前期よりも大きく伸び、どの項目でも90%台後半の評価でした。これは、日々の授業改善と生徒の学習に対する意識の変化、そして各家庭での日々のご支援のおかげといえます。ありがとうございます。一人ひとりが自らの力を伸ばす意識をもって授業に取り組んでいます。また、「豊かな心」「家庭との連携」「教育環境の整備」「教職員の指導の熱意」の項目も90%前後であり、学校・家庭・地域の協力のもと、日々の教育活動が充実していることが理由と考えます。今年度より始まったコミュニティ・スクールの取組もその力になっていると考えます。一方で、課題としては「読書」については生徒・保護者ともに60%台でした。なかなか落ち着いて読書をする時間がとれないという悩みもありました。ただ、この中学生の時期に読書を通して多様な世界に視野を広げるといことはとても大事です。学校では読書について働きかけていきますので、ご家庭でもぜひ読書について話題にいただければと思います。全体としてはこのように良好ですが、個々にいただいた評価やご意見も大切にしながら、それぞれの生徒が4月から高校や新しい学年などの舞台で輝けるよう、3学期を充実させていきたいと思っています。

